
剣道少女

らすか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

剣道少女

【Nコード】

N1807D

【作者名】

らすか

【あらすじ】

剣道に情熱を注ぐ中学2年、もうすぐ3年の少女、神奈崎沙紀^{かなざきさき}は、戦いそして勝つことしか知らない。初めて、沙紀は合同練習試合で男子、袴純一^{かみしじゅんいち}に負ける。戦う欲望が強くなった沙紀は、青春恋からかけ離れていく。

1・私というもの

昔、この日本で

かつて武士が競い合った剣術。

生と死の狭間でゆれる

今も、その剣の道に生きる少女が1人

。

「井上、織田・・・神田、おっと、はい神奈月。」

「はぁーい。」

ずるりと鼻水をすする。テストをぴらりとでこの前に突き出されて・・・

「いい加減にしようねえ。テストでこんな点数とって大丈夫なのかなあ??今日は、

補習へ来い!!」

「えー、っそんなあ。だって今度の日曜にある県選抜のシードで、練習しなきゃだ・・・」

先生は、そんなこと聞きもせずに済ました顔をして次々にテストを返していく。数学最悪。第一、関係ないだろう、将来店のレジでいちいちそろばんやるわけじゃないのに数学なんてやってられぬ。

「ちえ。」

しぶしぶと、席へ戻り余裕でそのテストをさらけ出す。うむ、恥を

知らぬも我の良い所。

「うつわー、おめえたったの10点かよ。やばくねえ？俺、お前にかつたー！ほら、3点勝っただろう？？」

ばか者よ、どんぐりの背比べもいい加減にしろ。

「環へたまき」どんぐりの背比べも、ほどほどにしなよ。」
ま、負けといえは私の負けだが。

そうして、一日の授業をやり終えた。

補習は、他にもいつも授業中寝ている村崎とか山際がいた。こいつらと一緒にされちゃたまない位、こいつらは変わり者だ。やっぱ、怠け者だな。

数学 確率だなんて知るか！じゃあ、宝くじのサマージャンボ3億円でも確率で探して当てて見ろってんだ。

補習をやり終えたら、もう5時だった。最終下校時刻である。部活にはいけなかったし、今日は本当に最悪だった。明後日は、いよいよ県選抜。絶対に私の前に立つものは、ぶった切ってやる。ゲームをやりながら、ぼんやりそんなことを考えていた。

2・青春という名の地獄

、ピピピピ ピピピピ

目覚ましがけたたましくなったので、よっこらせと起き上がる。
眠いなあ……。

「おきなさいー！沙紀」

「おきてるよー！」

母が階下から大声で呼ぶ。さあ、いくとするか。

制服に着替えて、スカートを折り曲げいつもの長さにする。スク
バを抱えて階段を下りると、父と妹はご飯を食べ終わりしばしの団
らんの花を咲かせていた。思春期になる前に、沢山話さないと

いずれ妹も私のようになってしまうのだから

かわいそ

うな父親だ。別に、父と話したいわけではないのだが顔を見ると話
すことも忘れて心の中にはもやもやがいつまでも残っている。

親孝行、してあげなきゃな。

パンを朝から4枚平らげて、スクランブルエッグにブロッコリー、
チキン、鮭、納豆、そしてオレンジジュースを飲む。朝からこれぐ
らい食べないとすぐにお腹がすいてしまう。成長するのだから、今
から沢山食べなくてはならない。ダイエットをする意味がわからない
私は、食べたいもののほしいものはバンバン惜しまずに食べる。人
間いつ死ぬかわからないし、食べたいときに食べなくては……。

「行ってきますー！！」

元気よく、家の前の坂を下る。走り出すと止まらないぐらいいい天
気で、青空が広がっている。半そでのシャツにやさしく風が当たる。
せみの声も、人の声も、夏の音がすべて消えた感じがする。そして、

ゆっくりと私は現実に取り戻されていく。

「おはよ、沙紀。」

「ん？ああ、おはよ。なんで、今日はこんな早いのか。いつも、遅刻ギリギリの癖に。」

「んー、ちよつといいことがあってね。」

「えっ？」

風がざわざわと揺れて、2人の世界になったみたいだ。

「え？じゃなくて、いやー。おめでたというか・・・昨日ね林君に明日の朝早く来て！って、いわれてーそしたら・・・告白されたの。で、OKしちゃった！だって、林君ってかっこいいじゃん。んでもってやさしいし、あとそれから・・・頭もい・・・。」

「ストーつぶー！ちよつと待って。悠美^{ゆみ}が、林から・・・告白されたの??」

「そーう。」

「で、OKした・・・？」

「そーう。」

「で、林と悠美は付き合う・・・？」

「そーう!」

おいてかれた・・・。二宮金次郎の像が倒れたみたいに重かった。

「ね！もーう、ほんと夢見たい〜！っキヤー!!!早くさ、沙紀も作ればいいじゃん、剣道なんか情熱注がないで。男の子に興味ないの?」

「あ・・・あるけど。でもっ、やっぱり剣道は好きでやってんジャンか。・・・おいてかれたー、悠美に置いてかれたー！ひどいよお・・・。」

親友、悠美に彼氏いない暦4年。私、彼氏いない暦永遠。

私は、うらやましかった。学校での青春といえば、恋と友情、情熱、部活。私は、ほかの3つはともい思い出ができているのだが、恋にだけは見放されている。縁結びも、所詮気休め・・・か。

でも、私は絶対に好きな人を見つけてやる！剣道関係で、いざ出陣！！！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1807d/>

剣道少女

2010年11月24日15時48分発行